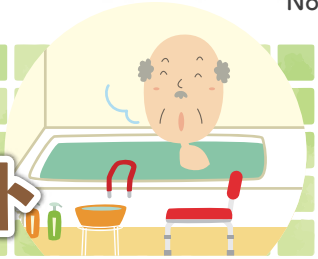


カビが発生しやすい時期の入浴用品お手入れのポイント



カビはどうしてできる？

カビは「暖かく」「湿度が高くて(水分がある)」「栄養分(石けんカスや垢)があり」「酸素がある」ところで発生しやすくなります。カビには、浴室でよく見る「黒カビ」、水まわりで多い「赤いぬめり」があり、目で見えた時には、すでに多くの胞子の繁殖が進んでいます。

カビは放置しておくと繁殖を続け、なかなか落とすことができません。

まず、カビが発生しにくい環境を作ることが大切です。



お手入れすることで、さらにカビの発生を抑えることができます。

1 熱いお湯

ご使用になった製品に熱いお湯(40℃～60℃)をかけます。湯垢などのカビの栄養素を溶かします。シャワーを使うと便利です。やけどには十分にご注意ください。



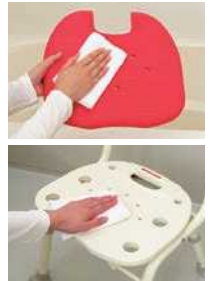
2 冷たい水

次に冷たい水をかけます。熱気がこもらないように冷やします。シャワーを使うと便利です。



3 乾燥

最後に製品の水気を拭き取り、直射日光を避けて風通しのよい環境で乾燥させてください。



さらに安心!

「安寿」の入浴用品は

防カビW

防カビ加工

クリーン構造

素材と機能の
W効果で
カビから守る。

防カビ加工

SIAA防カビ認証取得!

カビを寄せ付けない!

SIAA
防カビ加工

【注意事項】

- ・防カビ試験は、SIAA指定法にて実施しています。
- ・防カビ加工は、カビを死滅させるものではありません。
- ・使用条件によってはカビが発生する場合があります。
- ・SIAAの安全性基準に適合しています。

防カビ効果

カビの発生を抑制します

防カビ剤

防カビ剤

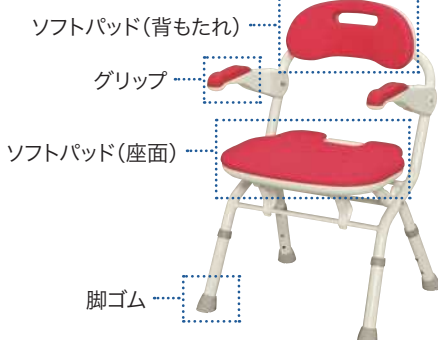
防カビ剤

防カビ剤 練りこみ素材
(ソフトパッド、グリップ部、脚ゴム)

カビが生えたと取り除きにくいソフトパッドやグリップ部に防カビ加工を施しています。



シャワーベンチ



浴槽手すり



浴槽台



※浴槽台の天板はカビが生えにくい素材を使用しているため、防カビ剤を添加していません。

クリーン構造

防汚構造で
キレイが
続く!

汚れがたまりにくいシンプル&フラット構造

凹凸が少ない・小さい形状

製品表面の凹凸を少なくして、汚れがたまりにくい形状です。
さらに凹凸がある場所でも浅いので、スポンジや雑巾が奥まで
届き、汚れを拭き取りやすい形状になっています。



シャワーベンチ



ソフトパッドは水切れのよいフラットデザイン。



ひじ掛け部はグリップ部との一体感のあるデザインで汚れがたまりません。

浴槽手すり

浴槽手すりの全てに、幅調節部カバーと高さ調節部ネジカバーを設けています。
ネジまわりなどに汚れがたまりません。



幅調節部カバー。
凹凸が少なく汚れが簡単に拭き取れます。



高さ調節部ネジカバー。
ネジの部分に汚れがたまるのを防ぎます。

浴槽台

部品が少ないシンプル
な構造で、汚れがたまり
にくい。

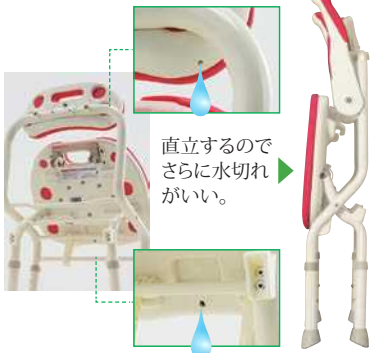


乾きやすい“速乾構造”

製品内に水を溜めない水抜き穴

シャワーベンチ

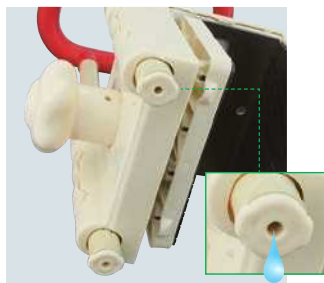
全てのシャワーベンチに水抜き穴を設けています。



直立するので
さらに水切れ
がいい。

浴槽手すり

全ての浴槽手すりに水抜き穴を
設けています。設置している状態
で自然と水が抜けていきます。



水を吸収しないソフトパッド素材

シャワーベンチ・浴槽台

ソフトパッドは水を吸収しない
「独立気泡構造」を採用し、水
を吸収しません。

